

沿岸広域振興局管内におけるFSC森林認証材の普及に関する取組について

1 はじめに

沿岸広域振興局管内では、岩泉町、住田町及び大槌町でFSC森林認証が取得されたことから、認証材の活用推進に向けた課題等を協議するため、令和3年度に当該3町の関係者で意見交換会を開催しました。

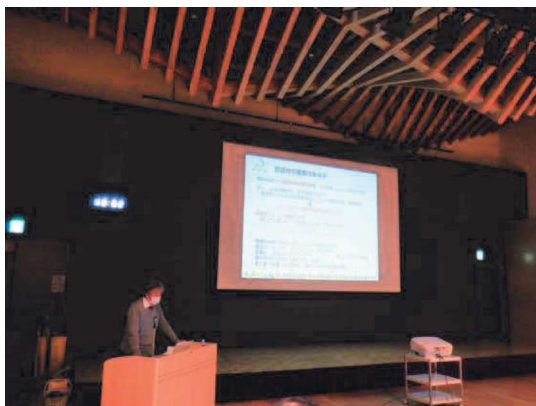
令和4年度は、FSC森林認証の先進事例を学ぶため、釜石地方林業活性化セミナーを開催するとともに、令和3年度に引き続き、意見交換会を開催しましたので報告します。

2 釜石地方林業活性化セミナー

令和4年11月7日、林業事業者やFSC森林認証関係者などが参加し、釜石地方林業活性化セミナーを開催しました。

セミナーでは、先進的な取組を行い、朝の連続テレビ小説のモデルにもなった、宮城県登米町森林組合の竹中雅治参事に講師をお願いし、「宮城県登米地域における森林認証の取組」について講演いただきました。

講演では、森林認証の認知度が低く、普及啓発を図る必要があることや、需要を自ら作り出す重要性についてお話をいただきました。



登米町森林組合 竹中参事による講演

3 意見交換会

セミナー終了後、講師の登米町森林組合 竹中参事にも参加いただき、沿岸広域振興局管内のFSC森林認証関係者で、現状や課題について意見交換を行いました。

その中で、伐採箇所や広葉樹材のストックが限られるため、需要に対応できない場合があることや針葉樹材の流通が少ないこと、認証材の流通をコーディネートできる組織体制の整備が必要であることなどの課題が明らかになりました。

4 その後の展開

意見交換会で明らかになった課題解消に向け、宮城・岩手両県のFSC森林認証を取得した地域が、共同で認証材の需要に対応できる体制整備を検討することとし、引き続き、オンラインにより打合せを行うこととなりました。

このような体制が整備されることにより、認証材の普及や利用が進み、最終的には森林所有者に利益還元されることが期待されます。沿岸広域振興局では、引き続き森林認証材の普及の取組を支援していきます。



登米町森林組合 竹中参事と沿岸広域振興局管内FSC森林認証関係者との意見交換会